

# 西尾市地区別防災カルテ

## ①基本情報

地区No	12
地区名	寺津小学校

### ●地区の概況

市西端・矢作川河口部左岸に位置し、その大部分を占める干拓地は農地として利用されている。東側の段丘は住宅地で占められており、段丘の東側の海岸平野は農地となっている。市街地を国道247号が南北に走っている。平坂入江により地区が分断されているため、災害時の孤立が懸念される。

### ●人口の状況 ※令和2年国勢調査より

世帯数	2886 世帯	
65歳未満	5634 人	72.6 %
65歳以上	2044 人	26.3 %
合計	7758 人	

※合計値は年齢不詳の人口も含む

### ●地区の課題

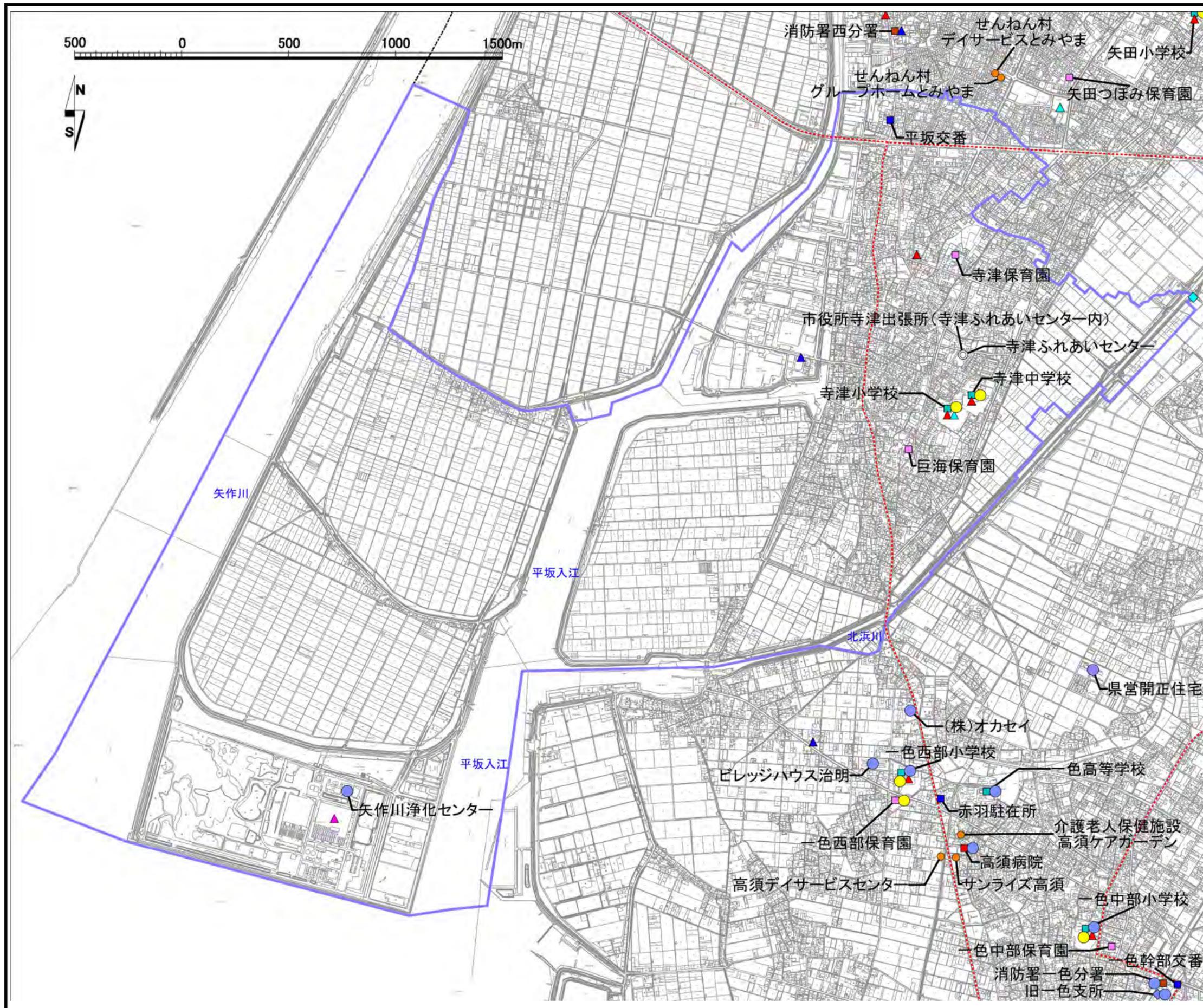
標高が低く、洪水、津波、高潮発生時には広範囲にわたって浸水する。河川によって地区が分断されるため、孤立地域が生じるおそれがある。

また、指定避難所は2箇所あるが、いずれも地区東部の巨海町に位置するため、地区西部から避難所までの距離が長い。

地震時は建物倒壊の危険性があるほか、住宅密集地では延焼火災が発生するおそれがある。

### ●凡例

● 指定緊急避難場所	■ 学校
● 指定避難所	■ 幼稚園・保育園等
● 津波一時待避所	▲ 防災倉庫・防災資機材庫・ その他備蓄倉庫等
● 福祉避難所	▲ 水防倉庫
◎ 市役所・支所等	▲ 飲料水兼用耐震性貯水槽
■ 警察署等	▲ 防災活動拠点
■ 消防署等	▲ 衛生施設
■ 救急病院	● その他の施設
◆ 水位観測所	
◆ 雨量観測所	
— 小学校区界	- - - 市町村界
— 鉄道	- - - 緊急輸送道路



# 西尾市地区別防災カルテ

## ②洪水被害・土砂災害

地区No	12
地区名	寺津小学校

### ●地区別大雨等被害の特性

矢作川と平坂入江に挟まれた地域と平坂入江の東側で浸水が想定されている。地区内にある2つの避難所はいずれも浸水想定区域外に位置するが、地区東部にかたまっており、地区西部から避難所までの距離が長くなる。

### ●避難環境評価

避難所収容者数	10640人
避難者数	7001人
最長避難距離	約4.0km

※避難所収容者数は洪水時のみの人数

### ●最大浸水深

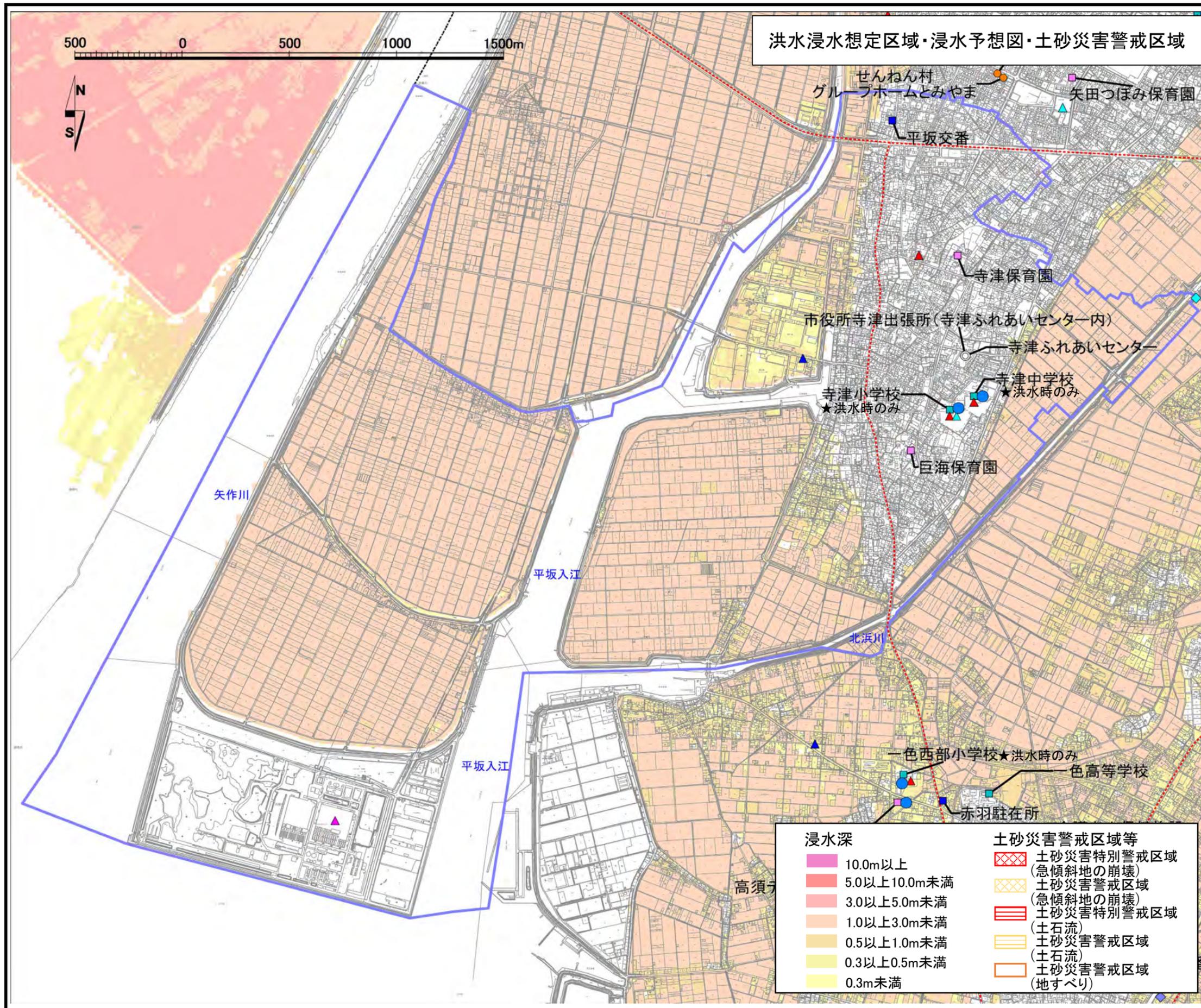
対象全河川(重ね合せ)	3m以上5m未満
矢作川	3m以上5m未満
矢作古川・広田川・須美川・安藤川	範囲外
朝鮮川	範囲外
矢崎川	範囲外
北浜川・二の沢川	3m以上5m未満
乙川	範囲外
鳥羽川	範囲外
八幡川	範囲外

### ●土砂災害リスク

土砂災害警戒区域(急傾斜地)	0箇所
土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)	0箇所
土砂災害警戒区域(土石流)	0箇所
土砂災害特別警戒区域(土石流)	0箇所
土砂災害警戒区域(地すべり)	0箇所

### ●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所(洪水・土砂時使用可)	学校
福祉避難所	幼稚園・保育園等
市役所・支所等	防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
警察署等	水防倉庫
消防署等	飲料水兼用耐震性貯水槽
救急病院	防災活動拠点
水位観測所	衛生施設
雨量観測所	その他の施設
小学校区界	市町村界
鉄道	緊急輸送道路



# 西尾市地区別防災カルテ

## ③地震被害

地区No	12
地区名	寺津小学校

### ●地区別地震被害の特性

過去地震最大モデルでは、全域で震度6強となる。(下図参照)  
 東部の市街地を除き、ほぼ全域で液状化の危険度が極めて高い。  
 北東部の住宅密集地では延焼火災の危険性がある。

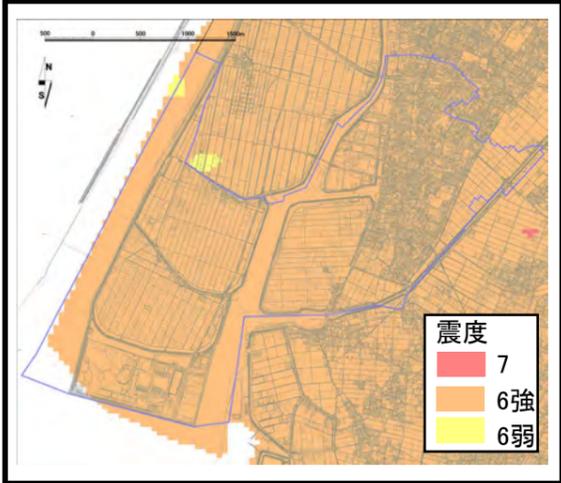
### ●避難環境評価 ※平成26年地震被害予測調査結果より

避難者数 ※津波による建物倒壊避難者も含む	3377 人
--------------------------	--------

### ●被害想定 ※平成26年地震被害予測調査結果より

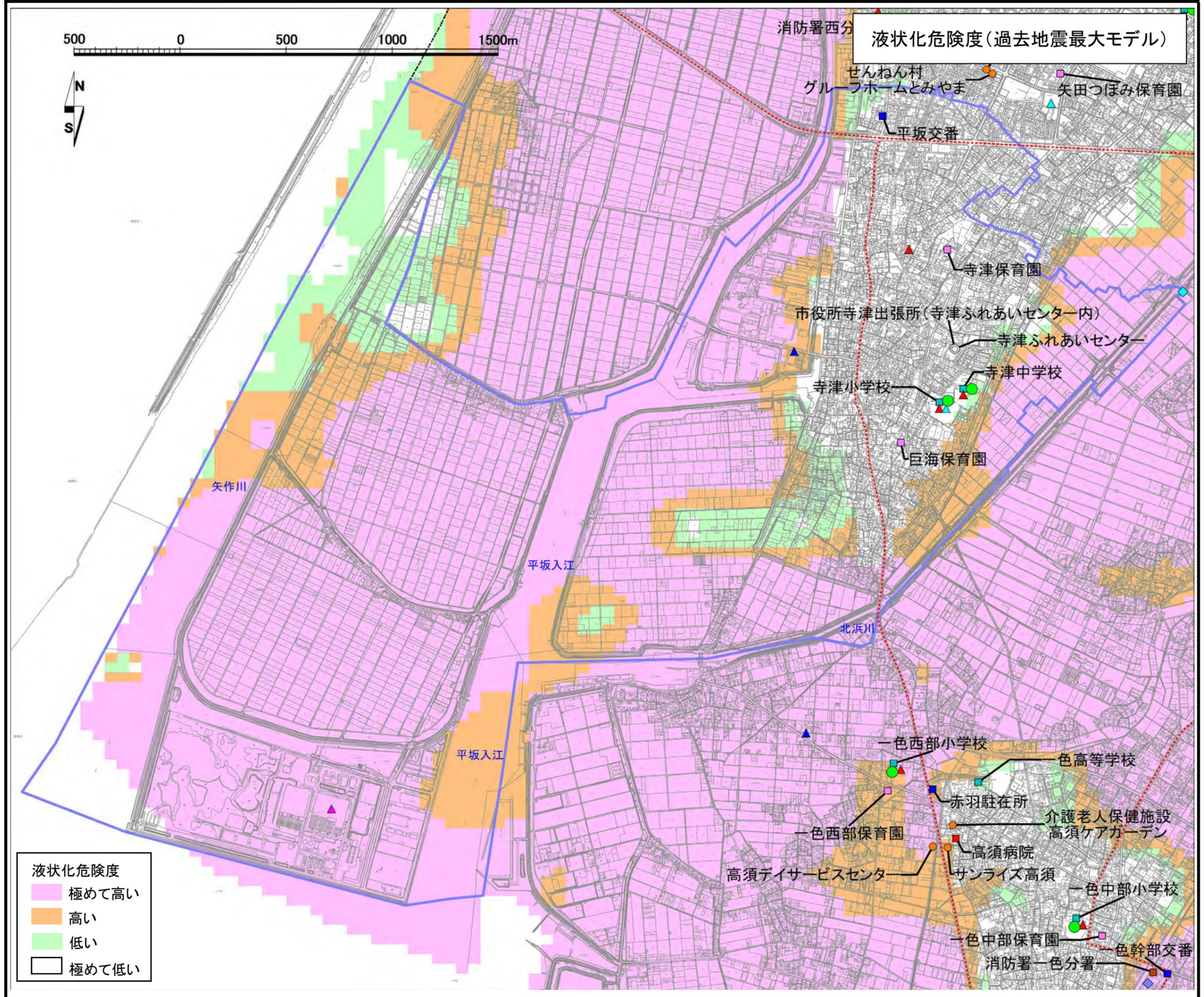
建物全壊数	705 棟
建物半壊数	1071 棟
死者数	45 人
重傷者数	55 人

### ●過去地震最大モデル震度分布図



### ●凡例

- 指定緊急避難場所・指定避難所 (地震時使用可)
- 福祉避難所
- 市役所・支所等
- 警察署等
- 消防署等
- 救急病院
- 水位観測所
- 雨量観測所
- 学校
- 幼稚園・保育園等
- 防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
- 水防倉庫
- 飲料水兼用耐震性貯水槽
- 防災活動拠点
- 衛生施設
- その他の施設
- 小学校区界
- 市町村界
- 緊急輸送道路
- 鉄道



# 西尾市地区別防災カルテ

## ④津波被害

地区No	12
地区名	寺津小学校

### ●地区別津波被害の特性

地区東部の市街地を除き、ほぼ全域が浸水想定区域となっており、南部では広範囲にわたり3m以上5m未満の浸水が想定される。地区内における避難目標は寺津小学校と寺津中学校であるが、いずれも北東部に位置するため、南西部の住宅街からは距離がある。逃げ遅れた場合、南部にある矢作川浄化センターへ避難する。

### ●避難環境評価

津波一時待避所収容者数	330人
避難所収容者数※1	3236人
避難者数	7001人
津波浸水想定区域外までの距離※2	約 6.3 km

※1津波被害における避難所収容者数は「命を守った後に避難生活を送ること」を想定して算出している。

※2西尾市津波避難計画(令和5年4月修正)に記載された校区のみ記載している。

### ●津波浸水深

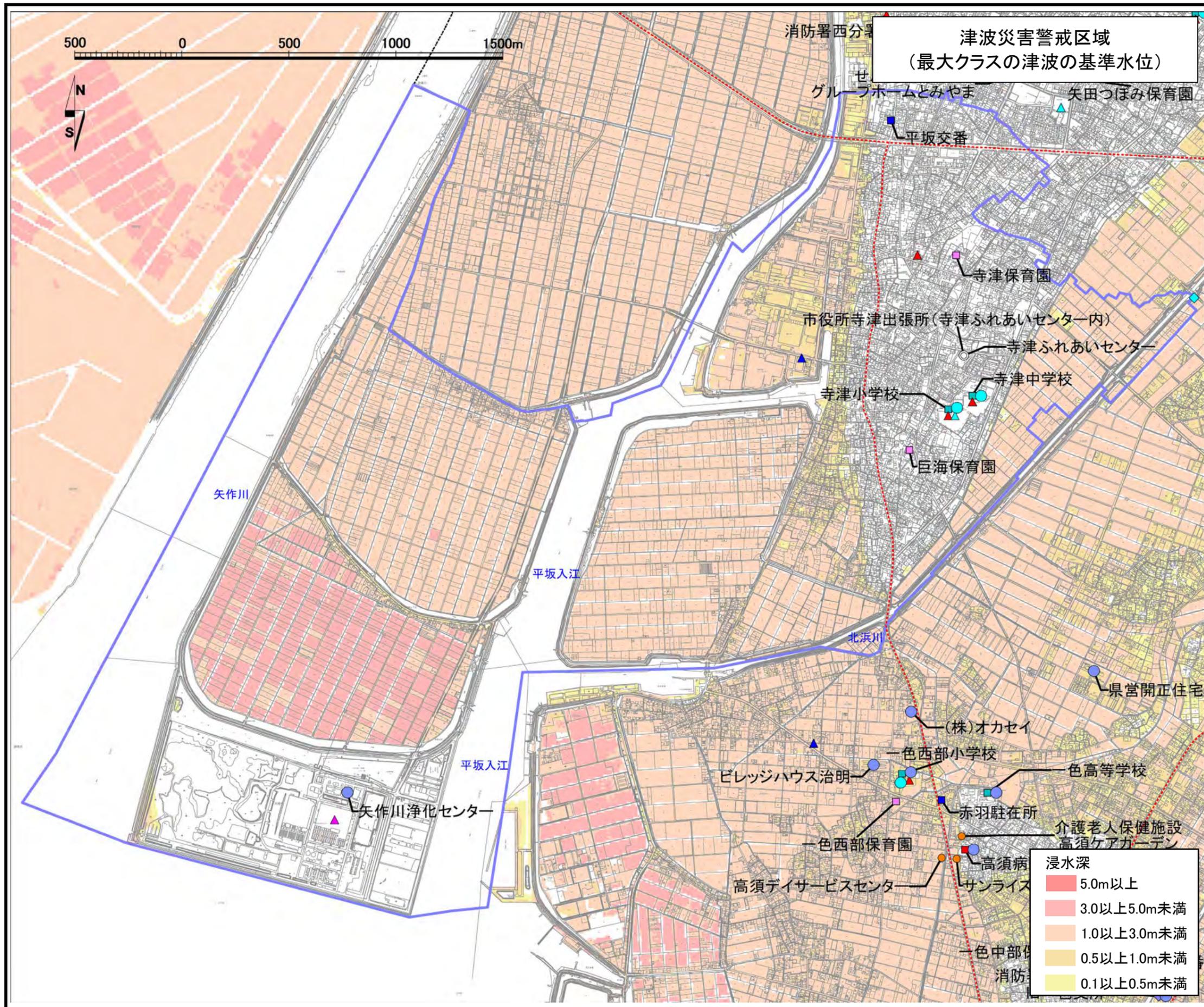
最大クラスの津波の基準水位	
最大津波水位	3m以上5m未満
過去地震最大モデル(参考)	
最大津波浸水深	3m以上4m未満

### ●津波発生時の避難先

避難目標: 平坂中学校、中畑小学校、寺津小学校、寺津中学校  
緊急避難先: 矢作川浄化センター

### ●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所(津波時使用可)	学校
津波一時待避所	幼稚園・保育園等
福祉避難所	防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
市役所・支所等	水防倉庫
警察署等	飲料水兼用耐震性貯水槽
消防署等	防災活動拠点
救急病院	衛生施設
水位観測所	● その他の施設
雨量観測所	
小学校区界	市町村界
鉄道	緊急輸送道路



# 西尾市地区別防災カルテ

## ⑤高潮被害

地区No	12
地区名	寺津小学校

### ●地区別高潮被害の特性

西部や平坂入江東側の平野部で最大浸水深が5m以上となる。指定避難所である寺津小学校と寺津中学校は、いずれも北東部に位置しており、南西部の住宅街から避難所までの距離が長い為、早期の避難が求められる。

### ●避難環境評価

避難所収容者数	10640人
避難者数	7699人
最長避難距離	約4.5km

### ●高潮浸水深

最大高潮浸水深	5m以上10m未満
---------	-----------

### ●凡例

● 指定緊急避難場所・指定避難所 (高潮時使用可)	■ 学校
● 福祉避難所	■ 幼稚園・保育園等
◎ 市役所・支所等	▲ 防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
■ 警察署等	▲ 水防倉庫
■ 消防署等	▲ 飲料水兼用耐震性貯水槽
■ 救急病院	▲ 防災活動拠点
◆ 水位観測所	▲ 衛生施設
◆ 雨量観測所	● その他の施設
— 小学校区界	- - - 市町村界
— 鉄道	- - - 緊急輸送道路

